

平成13年度（第9回）専門医資格認定試験の試験問題について

専門医制度委員会
委員長 大久保 利晃

平成13年8月25日・26日に、平成13年度（第9回）専門医資格認定試験が実施されました。今後の制度改善と受験者の便に供するため、委員会は従来どおり、この試験で用いられた試験問題を公表致します。試験方法は、昨年と同じです。以下に筆記試験、口頭試験の全問題文を掲載いたします。

1. 筆記試験

筆記試験は3つの観点から問題を作成しました。

A問題は、専門医として必要な基本的知識を問う問題です。産業医学、衛生学、公衆衛生学、疫学、臨床医学等の分野から出題し、幅広い知識を評価することを目的としています。

B問題は、専門医としてのより深い知識を問う問題です。そのため、昨年度と同様5問中3問を回答する選択方式としました。このことにより、受験者は得意とする分野の問題を選択して回答ができ、その分野の知識を評価しました。

C問題は、受験者が、産業医として活動する中で経験するであろう課題に対して、一般的な知識とともに、実際的な問題解決能力を評価する問題です。5問中2問を回答する選択方式としました。C4の問題は、「単身赴任で、週末は自宅で過ごす生活をしていました」と補足説明しています。

配点は、問題に示しました。59点以下を不合格としました。

【A問題】下記の問題に答えなさい。（各4点）

- A1 湿球黒球温度(WBGT)指数は、暑熱作業の4つの環境因子を総合評価したものである。その4つの環境因子を列挙せよ。
- A2 量－反応関係と、量－影響関係の相違点を記せ。
- A3 粉じん作業において防じんマスクを使用すべきでないのは、どのような場合か列挙せよ。
- A4 疫学研究において、因果関係があると判定できるための要件を5つ挙げよ。
- A5 労働安全衛生マネジメントシステムにおける活動様式として重視されている

PDCA サイクルについて説明せよ。

A6 作業環境測定におけるA測定とB測定それぞれの意義について、具体例を挙げて説明せよ。

A7 アーク溶接において発生しうる職業病を含む作業関連疾患を4つ挙げよ。

A8 一般にMSDS（化学物質等安全データシート）に記載されている項目を列挙せよ。

A9 VDT作業が主体であるオフィスの職場巡視で、特に着目すべき点を4つ挙げよ。

A10 業務上疾病の認定要件について説明せよ。

【B問題】 下記の5問の中から3問を選んで答えなさい。（各10点）

B1 深夜勤務従事者に対する健康管理活動として実施すべき事項を列挙し、その内容を簡単に説明せよ。

B2 単純繰り返し作業の多い電機部品組み立て作業における休憩時間の挿入について相談を受けた。助言すべき内容を説明せよ。

B3 職場巡視において、騒音が気になる部署があった。職場巡視後、産業医として何を行うべきか考えを述べよ。

B4 個人の健康情報の望ましい取り扱いについて、日本産業衛生学会が定めた産業保健専門職の倫理指針の規定を引用しつつ概説せよ。

B5 メンタルヘルス対策を実施する際に、ラインによるケアをすすめるにあたって留意すべき点について説明せよ。

【C問題】 下記の5問の中から2問を選んで答えなさい。（各15点）

C1 産業医であるあなたは、妊娠中で軽度の妊娠中毒症である女性労働者から就労上の相談を受けた。その労働者は、立位を主体とした梱包作業に従事している。妊娠中および産後の労働者の健康を確保するために事業主（あるいは現場責任者）にどのような提言を行うか。またその労働者にどのような指導を行うか。説明せよ。

C2 患者は36歳男性で、母親に結核の既往があり、前年実施した定期健康診断で要精査となっていたが放置していた。4月より咳が持続し、6月に医療機関を受診して塗沫陽性（ガフキー6号）と診断され入院となった。職場は事務系を主体にした業務を行っており、従業員数は100名弱で、40歳未満の者が88%を占める。事務所は老朽化したビルにあり、空調システムは旧式である。産業医として対策を立てよ。

- C3 従業員数 800 名の製造業の事業場で産業医をしている。現在の喫煙率は、男性 600 名が 60%、女性 200 名が 15%である。このたび、喫煙対策を実施することになり、キャンペーン活動として、ポスターで広報し、外部から講師を呼んで講演会を開き、各職場の禁煙区域の設定に奨励金を支給し、職場の衛生委員会で特別に 30 分間を使って小集団ごとに教育し、賞品を準備して呼気の一酸化炭素濃度の測定も取り入れた禁煙マラソンを実施し、禁煙意志のある労働者には禁煙補助剤を購入して援助したいと考えている。この事業を事業所長に説明したところ、事前に費用便益分析 (cost-benefit analysis) を実施するよう求められた。費用と便益に掲げるべき項目を整理して示せ。
- C4 自宅から新幹線で 3 時間かかる A 市の営業所所長として 2 年間勤務していた B 氏 (男性、56 才) が冠動脈バイパス手術を受け復職してきた。収集すべき情報や本人への指導も含め、復職に際して実施すべき事項を列記せよ。
- C5 深夜を含む三交代制で操業している部品組み立て工場において、常夜勤勤務を希望する複数の作業者がいる。会社もそのような作業者がいると便利だと考え、産業医の意見を求めてきた。どのような意見を提出すべきか考えを述べよ。

2. 口頭試験

口頭試験では、個々の知識と関連領域の知識との整合性や、知識の総合性、経験の程度、問題解決能力、総合的評価能力、企画力、対象の観察力、指導性、協調性等を見ることを目的としました。口頭試験【口頭試問】・【グループ討議】・【課題発表】では、6名のグループ4組で3種類の試験が実施されました。

【口頭試問】

1. 事務所の巡視の際、気を付けるべき事項について述べなさい。
2. 事業場における化学物質の取り扱いについて述べなさい。
3. 健診機関、臨床検査機関の精度管理事業について述べなさい。
4. 最近の企業には正規従業員の他、パート、派遣社員、協力会社社員など、様々な労働者が働いている。これらの労働者について、一般健康診断、特殊健康診断の実施責任がどこにあるか、整理して述べなさい。
5. 安全衛生関係の最近 5 年間の法的動向について経時的に述べなさい。
6. 「精神障害等に係る業務上外判断指針」における心理的負荷の評価について説明しなさい。
7. 事業場で必要な労働衛生に関する各種届出について述べなさい。

8. 国際的に問題となっている感染症の一つとしてマラリアがあるが、日本からマラリア汚染地帯への労働者の派遣に際して、その対策を述べなさい。
9. 労働者災害補償保険法に基づく二次検査について述べなさい。
10. 社員食堂の衛生管理に対する産業医の役割を述べなさい。
11. 産業衛生学会が勧告している許容濃度の性格と利用上の注意を列挙しなさい。
12. 職場における腰痛予防対策について述べてください。
13. 地域産業保健センター、産業保健推進センターの役割について述べなさい。
14. アスベストを含むスレートを使った古い倉庫を破棄することになった。その際の労働衛生上および環境管理上の対策を述べなさい。

【グループ討議】

1. 産業医として勤務しているA社と、これまで競争会社であったB社が合併することになった。合併に際しては、早期退職優遇制度の導入により、かなりの従業員が削減される予定である。その際に発生することが予想される産業保健上の短期的および長期的な課題について、考察しなさい。
2. 一年半前、単身で地方支店に赴任している営業課長（46歳、男性）が、出張からの帰宅後くも膜下出血で突然死した。事業場としては私傷病として対応した。定期健康診断は何年も受診していなかった。彼は単身赴任が6年にもおよぶ長期単身赴任者であり、数県にわたる営業責任をもたされていた。一年半がすぎた時に、妻から「夫の死は過労死である」と、労災補償（遺族年金）を求める申請がだされた。この事例を通じて、産業医が取るべき対応について検討しなさい。

【課題発表】

1. 2,000人規模の電気部品製造事業場である。新製品の試作工場で働いている10人の作業員中2人が吐き気、食思不振、微熱等を訴えて健康管理室を訪れた。問診によると、1カ月ほど前からサンプル出荷用の新製品の試作品を毎日500個生産し、2週間ほどたってから体調が徐々に悪くなってきていた。産業医として原因の追及と対策についての意見を早急にまとめるよう、経営者会議から指示された。10分間で発表しなさい。
2. 健診結果に基づく保健指導を行なっている際、結婚直後に、急激に体重が増加している例をしばしば見かける。一度増加した体重を減量することは容易で

なく、その後の生活習慣病に繋がるため、産業医として予防法についての健康教育を企画しようと考えた。安全衛生委員会でその内容を 10 分間で提案しなさい。

3. インテリジェンスビルの空調システムは全館調整式で、窓は開かず、外気の取り入れ量は少ない。分煙対策として、職場で喫煙することは禁止され、エレベータ前の踊り場が喫煙場所として安全衛生委員会で提案された。産業医として問題点を整理して、効果ある喫煙対策を 10 分間で提案しなさい。

4. 産業医として勤務する電子部品製造事業場である。労働安全衛生マネジメントシステムを導入して、自主的な管理に基づく安全衛生管理活動の取り組みを推進することになり、産業医であるあなたも、主任衛生管理者、人事課長とともに衛生部会に加わることになった。今後の検討のたたき台として、現在行なっている活動をマネジメントシステムの形式にまとめ、10 分間で報告しなさい。

5. 1,500 人の技術者が働いている事業場である。最近、夜遅くまで働く技術者が多いことが気にかかる状況であった。健康管理室へ仮眠したいと訴える技術者も見られるようになり、メンタルヘルス対策を取り上げるように、産業医に要請があった。事業場のメンタルヘルス対策を企画し、安全衛生委員会で 10 分間で提案しなさい。

6. 製造業の本社に勤務する専属産業医である。本社でも労働安全衛生法に基づく衛生委員会が毎月開催されているが、事務職場で健康障害リスクも小さく、その活動が沈滞気味である。一部には「この委員会は無駄だから、メールで意見交換をし、何もなければそれをもって開催に代えてはどうか」といった提案もなされている。衛生委員会の委員長から活性化案の相談があった。活性化のための戦略を 10 分間で提示しなさい。